

## 資料3 各区主要地点における水準点高さ変動量

(単位:cm)

区名	所在地	〔水準点番号〕	調査開始年 (昭和)	変動量(対前回調査比)					(参考) 調査開始時から の累積変動量
				H19年度	H21年度	H24年度	H27年度	H30年度	
北	本庄西2-1	〔中-3(Ⅱ)〕	13年	0.05	-0.21	0.01	-0.55	0.41	-37.23
都島	東野田町4-15	〔東-8〕	10年	0.08	-0.23	-0.02	-0.03	-0.16	-60.32
福島	玉川4-1	〔中-16〕	10年	-0.03	0.00	-0.11	-0.64	0.47	-144.92
此花	西島1-2	〔西-4〕	10年	0.12	0.01	0.03	-0.79	0.14	-292.03
中央	大阪城3	〔中-28〕	10年	-0.10	0.26	-0.22	0.38	-0.01	-15.76
西	九条2-19	〔西-45〕	13年	-1.34	-0.09	-0.27	-0.61	0.23	-142.17
港	海岸通4-2	〔西-19(Ⅱ)〕	34年	-0.51	0.23	-0.16	-1.14	0.64	-80.80
大正	泉尾1-39	〔西-30〕	10年	-0.30	0.41	0.40	-0.44	0.31	-114.52
天王寺	生玉町13	〔国-234(Ⅲ)〕	41年	-0.11	0.28	-0.07	0.27	-0.05	-4.15
浪速	敷津西1-2	〔中41(Ⅱ)〕	38年	0.02	0.35	-0.33	-0.04	-0.17	3.44
西淀川	百島1-3	〔北-26〕	10年	-0.14	0.05	0.13	-0.49	0.33	-245.01
淀川	西中島7-8	〔北-13〕	9年	0.00	-0.56	0.34	-0.24	-0.14	-112.81
東淀川	西淡路3-14	〔北-41〕	49年	0.20	-0.40	-0.08	0.11	0.40	-9.39
東成	中道4-8	〔東-13〕	10年	0.08	0.03	0.12	0.32	-0.35	-77.51
生野	巽東3-3	〔東-34〕	38年	0.23	0.39	-0.26	0.56	-0.35	-67.03
旭	大宮3-1	〔東-2〕	10年	0.35	-0.09	0.13	0.17	0.30	-30.39
城東	中浜2-12	〔東-9〕	10年	0.36	-0.06	0.15	0.03	-0.24	-68.81
鶴見	横堤5-13	〔東-50〕	47年	0.94	-0.14	0.08	0.45	0.06	-13.71
阿倍野	阪南町5-7	〔南-54〕	44年	-0.01	0.54	0.20	0.65	0.48	6.35
住之江	安立2-11	〔国-245〕	9年	0.27	0.22	0.21	0.51	0.19	-11.57
住吉	東粉浜1-5	〔国-244〕	9年	0.02	0.53	0.40	0.58	0.61	-15.38
東住吉	湯里1-15	〔南-15〕	10年	0.17	0.34	0.33	0.61	0.46	-23.55
平野	加美南1-9	〔南-39〕	38年	0.50	0.78	0.25	0.62	0.25	-40.93
西成	天下茶屋2-2	〔国-243〕	9年	0.05	0.40	0.17	0.49	0.03	-10.40

注  
1. 測量不動点は、昭和10～38年:毛馬原標、昭和39～51年:基21号、昭和52～57年:基21号、上町原標、国分原標、262号、昭和58年以降:基21号、上町原標、国分原標、泉南原標である。  
2. 主要地点は長期にわたって固定している水準点のうちから任意に選定している。  
3. 変動量・累積変動量について、マイナス表記は前回調査時又は調査開始時よりも地盤が沈下していることを意味する。  
4. 平成21年度までは2年ごと、それ以降は3年ごとに調査を実施。  
5. 変動量は平成24年度までは一級水準測量成果における「昭和28年成果」、平成27年度は「測地成果2011」(平成7年の兵庫県南部地震、平成23年の東北地方太平洋沖地震の影響を踏まえたもの)により算出している。参考として表記している累積変動量は平成24年度までの「昭和28年成果」による累積変動量に平成27年度の「測地成果2011」を加えたものである。